

69 期 環境レポート



1. 環境方針

株式会社新潟藤田組 環境方針

株式会社新潟藤田組は、エネルギーの効率的運用による環境負荷の低減と、産業廃棄物の排出を抑え、建設業としての事業活動を通じて以下の環境方針に基づき、新潟地域の環境対策に取り組み、地域社会の持続的発展に貢献できる企業を目指します。

1. 当社の事業運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防と環境保護を推進するとともに、環境対策活動の継続的改善を図ります。
2. 当社に関連する環境関連法規制などの要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 資源のリサイクルや節約
 - (3) 環境美化活動の実施
 - (4) 法令遵守
4. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境方針を全従業員に周知します。

上記の方針達成の為に目的を設定し、定期的に見直し、環境活動を推進します。

2017年3月31日
株式会社 新潟藤田組
取締役社長 藤田直也

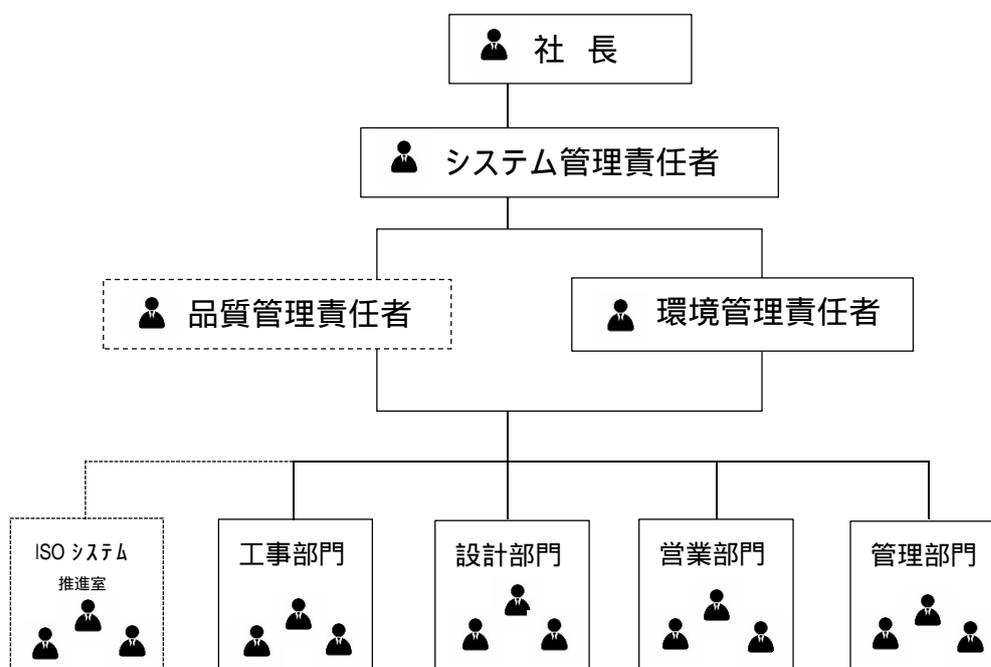
2. 企業概要 ・ 取り組み体制

企業概要

社 名 : 株式会社 新潟藤田組
 代表者 : 取締役社長 藤田 直也
 所在地 : 新潟県新潟市中央区白山浦2-645-1
 電 話 : 025-266-1166
 資本金 : 9,000万円
 従業員数 : 102名(平成30年4月現在)
 創 業 : 大正14年10月

環境活動の取り組み体制

当社は、下図の組織体制で環境マネジメントシステムを運用します。



3. 事業における環境活動

Plan (計画)

方針にもとづき以下の目標に向かって取り組みます。

- 二酸化炭素排出量の削減
- 資源の節約

工事受注量を考慮した算出を行い、昨年度以下にする。

美化活動の実施
美化活動の定例実施
法令遵守
環境法令遵守

Do (実行)

具体的な取り組み事項

- 二酸化炭素削減の取り組み
 - ・発電設備等
 - 太陽光発電設備の活用
 - ・空調設備・運用等
 - グリーンカーテンの実施
 - クールビズ・冷暖房のこまめなオンオフ・業務効率化による節電
 - 空調設定を温度湿度で管理する
 - 冷房 28 以上、暖房 21 以下(厳冬期 24 以下)
 - ドライ湿度 80%以上、風力(弱)での運用
 - ・照明設備・運用等
 - 高効率照明設備の活用
 - 単独スイッチの活用
 - こまめな消灯・業務効率化による節電
 - ・車両選定・運用等
 - 低燃費車への入替
 - ハイブリッド車でのガソリン使用量の削減
 - アイドリングストップの実施
 - 燃費向上運転の指導・心がけ
 - 冷暖房の使用状況改善
 - ・その他
 - 啓発掲示物等の掲示
- 資源の節約への取り組み
 - ・コピーFAXの運用等
 - 両面印刷、裏面印刷によるコピー用紙の削減
 - ミスコピー撲滅運動の実施
 - 電子化・ペーパーレス化の推進
 - ・その他
 - 啓発掲示物等の掲示
 - ・資源の有効活用等
 - ゴミ完全分別実施
 - 美化活動の実施
 - ・本社周辺及びキング公園の日々のゴミ拾い、維持管理の実施(冬期及び悪天候日を除く)
 - ・緑化コンクールへの参加
 - 法令遵守への取り組み
 - すべての作業所で環境法令を遵守する
 - 施工前討論会での確認
 - 担当者による遵守状況の確認
 - 著しい環境側面への対策
 - ・消火設備の点検管理と緊急時の対応・対策訓練実施

Action (見直し)

見直し、改善を図ります。

- 二酸化炭素排出量の削減
- 資源の節約

工事受注量を考慮した算出を行い、昨年度以下にする。

美化活動
昨年同様に実施
法令遵守
昨年同様に違反等皆無にする

Check (点検)

目標と実績とを比較します

対象期間 29年3月1日～30年2月28日

二酸化炭素排出量

冬季豪雪により、電力消費が増加した

前年度実績比 1,836kwh 増加

ガソリン使用量

1Lあたりの走行距離は

前年度実績より、0.7km/L 向上

コピー用紙の使用量

使用枚数/完成工事高比で

前年度実績より0.000051 増加(完成工事高の減)

美化活動

美化活動の定例実施

実績:白山駅前・近隣公園のゴミ拾い、アダプト活動の実施

法令遵守

環境法令遵守の確認

実績:環境法会の違反等無し

4. CO²排出量チェックシート (69期実績)

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・中越(営)・上越(営)・西蒲(営)

電気・ガソリン使用量

	前期	当期目標	当期実績	削減量目標	達成数値 (前期に対する当期実績)
電気	67,229kwh	67,229kwh	69,065kwh	前期実績以下	1,836kwh 増加
ガソリン (社有車)	18.5km	18.5km	19.2km	前期実績より 向上	0.7km 向上

1 ガソリン使用量については、1Lあたりの走行距離(全社平均)としている

その他環境に影響するもの

	前期	当期目標	当期実績	削減量目標	達成数値 (前期に対する当期実績)
コピー用紙 (A4換算)	559,000枚	559,000枚	659,000枚	前期実績以下	100,000枚 増加
	0.000106	2 0.000106	3 0.000157		0.000051 増加

2 完成工事高・使用枚数比 前年実績の0.000106以下にする。

前年実績(0.000106) = 使用枚数(559,000枚) ÷ 完成工事高(5,256,000,000円)

3 当期実績(0.000157) = 使用枚数(659,000枚) ÷ 完成工事高(4,191,000,000円)

5. 69 期年間成果

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・中越(営)・上越(営)・西蒲(営)

電気・ガス・ガソリン

電気

前期より 1,836kwh 増。

前期実績以下を目標とする。具体的な施策では、啓発掲示物の設置、高効率照明設備の導入、クールビズ・こまめな消灯・業務効率化による節電、太陽光発電の活用等。今期は豪雪により消雪パイプ電力の使用が増となった。

ガソリン

1L あたりの走行距離(全社平均)は前期より 0.7km/L 向上。

省エネ車への入替え、省エネ運転、アイドリングストップ活動の推進を行い、燃費向上が出来た。数値目標とはしていないが、参考数値として引き続き全社にて取り組んでいく。

その他環境に影響するもの

コピー用紙

当期実績 0.000051 増(= 使用枚数÷完成工事高)。

完成工事高と使用枚数比で前期実績以下を目標とする。

具体的な施策では、ミスコピー撲滅運動、白紙裏紙の活用、電子化・ペーパーレス化の推進等。

- ・ ゴミの完全分別(本社)

啓発掲示物等の設置。分別処理と対応するゴミ箱の明示等(可燃ごみ、不燃ごみ、再生紙、シュレッダー)。

- ・ 環境美化活動

本社周辺及びキング公園を清掃可能な天候の日には毎朝実施。アダプトプログラムの実施等。